

「友だちできるかな」から「友だちできたよ」へ

「はじめまして教室、友だち」

<p>第1週</p>	<p>(月) 特別活動・生活① 4月9日 学校探検「トイレ探検・教室探検」 なかよしタイム(学年合同) 1時間目 2時間目</p>	<p>音楽・特別活動 下校の仕方「安全になかよく帰ろう」 3時間目</p>	
<p>週の目標</p>	<p>◆安心して遊びや生活ができ、施設の様子が分かる ・先生や友達を知る ・自分で教室に行き、片付けをして席に着く ・トイレや手洗い場が使える</p>		
<p>育てたい姿</p>	<p>・これまで身につけた基本的な生活習慣を生かそうとする。 ・困ったことや分からないことを人とかかわりながら解決しようとする。 ・新しい環境の中で学習の準備や片付けを自分でしようとする。</p>	<p>・なかよくならぶ ・安全に帰る</p>	
<p>時間</p>	<p>◆1モジュール(1Mと表記):15分。1校時:45分(3M)。 特に、第1週目は、登校直後の活動は柔軟な時間の工夫を行う</p>		
<p>空間</p>	<p>・靴ばこ・教室周辺・廊下 ・多目的室(合同活動可能な教</p>	<p>徐々に短時間で集合できるようにする(校区の事情に合わせて) 教室から校庭へ</p>	
<p>人間</p>	<p>・先生 ・友達</p>	<p>帰りの道が同じ友達・引率の先生・安全パトロール(下校時)</p>	
<p>教材</p>	<p>・教室 ・上靴・下靴 ・知っている歌と手遊び</p>	<p>下校グループの位置やマーク</p>	
<p>子どもの活動</p>	<p>1. 上靴にはきかえ自分の教室に入る。 2. 先生や友達に挨拶をする。 3. ランドセルをロッカーに入れる。 4. 多目的室に移動する。 5. みんなで歌や手遊びをする。 6. 名前を呼ばれたら返事をする。</p>	<p>1. ランドセルから持ち物を出す。 2. 持ち物を机の中に入れる。 3. ランドセルの片づけ方を知る。 4. 教科書を開いて見る。</p>	<p>1. 帰りの準備の手順を知る。 ・家庭への手紙の伝え方を知る。 ・ランドセルに持ち物を入れる。 ・下校グループを知る。 2. 先生の話聞く。 3. みんなで歌う</p>
<p>教師の働きかけ</p>	<p>◆子どもが自分でできることを引き出しながら、身の回りの整え方を具体的に伝え確認しながらすすめ</p> <p>・元気で登校できたことへの承認。 ・自分の教室や座席が分かった行動への承認。 ・既習の歌や手遊びを引き出す。毎朝、登校後にすることを確認する。 ◆多目的室に自由遊びの教材を随時設定</p> <p>教室からトイレの経路の確認 トイレの使い方の約束を図やカードで示す。これまでの幼児教育施設や家庭生活との違いを確かめ</p> <p>・ランドセルへの思いを受けとめる。 ・今後、身の回りの片づけをする意味や目的が分かるように、教室のルールを理解させる。 ・教科書を概観したり、関心のあったページを紹介したりしながら学習への期待や意欲を引き出す</p> <p>・一日の振り返り ・明日からの生活や学習への見通しをもたせる言葉かけ ・交通安全に対する言葉かけ</p> <p>* 下校グループを分担して引率</p>		

「友だちできるかな」から「友だちできたよ」へ

「はじめまして教室、友だち」

第1週	(火) 4月10日 なかよしタイム (学年合同)	生活② 道具となかよし (机の中・周辺の整頓) 1時間目	国語① じぶんの名前をかこう 2時間目	生活③ 友だちとなかよし (友だちの名) 3時間目	音楽・特別活動 「安全になかよく帰ろう」 4時間目
週の目標	◆安心して遊びや生活ができ、施設の様子が分かる ・先生や友達を知る ・自分で教室に行き、片付けをして席に着く ・トイレや手洗い場が使える				
育てたい姿	・これまで身につけた基本的な生活習慣を生かそうとする。 ・困ったことや分からないことを人とかかわりながら解決しようとする。 ・新しい環境の中で学習の準備や片付けを自分でしようとする。				・楽しくみんなと歌う ・なかよくならぶ ・安全に帰る
時間	登校後の生活リズムに合わせる。多目的室での学年合同活動と1校時	2校時後の業間の長い休憩時間も ←————→ 含めて、柔軟な時間運用			徐々に短時間で集合できるようにする (校区の事情に合わせて)
空間	・多目的室 (合同活動可能な教室)	教室 自分の席 机を片付け、いすを輪に並べる			教室から校庭へ
人間	先生 友達 6年生	クラスの仲間・先生	クラスの仲間・先生 隣の友達 グループ (4人) の友達		帰り道が同じ友達・引率の先生・安全パトロール(下校時)
教材	紙芝居や絵本	お道具箱 机の中の片付けカード	筆箱 短冊 (厚手の上質紙) ワク入りのプリント・ICT		下校グループの位置やマーク
子どもの活動	1. 上靴にはきかえ自分の教室に入る。 2. 先生や友達に挨拶をする。 3. ランドセルをロッカーに入れる。 4. 多目的室に移動する 5. 6年生が読んでくれる紙芝居や絵本をみる。 6. 名前を呼ばれたら返事をする。	・くつ箱・ロッカーに持ち物が片付けられたか、確かめる。 ・自分の教室の席にもどる ・お道具箱にあるものを確かめる。 ・お道具箱の使い方を知る。 ・絵カードを参考にお道具箱の中を整頓する。	・筆箱を出して中を確認し、鉛筆と消しゴムを出す。 ・鉛筆をにぎって、紙を押さえてみる。 ・書く姿勢、正しい鉛筆の持ち方を知る ・書写プリント(線をなぞる) ・短冊にゆっくりと自分の名前を書く。		1日目を思い出して、帰る準備をする (以後、日直の仕事「帰りの会」が始まるまで毎日繰り返し) ・「あくしゅでこんにちは」や手遊びなどをする。
教師の働きかけ	・6年生にお礼が言えるように促す。 ・元気で登校できたことへの承認。 ・既習の歌や手遊びを引き出す。毎朝、登校後にすることを確認する。	・お道具箱と中に入れる絵カードを掲示物として準備しておく。 ・視覚を通して、分かりやすく整理の方法を理解させる。 ・基本的な生活習慣の確立のためのスタート。丁寧にすることと共に個人内評価の伸びをみていく。教室環境の見直しをする。	・名前が書けない子には、個に応じた援助をする。(机上の子どもの名前をなぞらせる等) ・鉛筆の正しいもち方の写真・図を示しながら正しいもち方を意識して書かせる。 早く書けた子どもには、練習プリントなど自由に書けるものも準備する。		・安心して名前が言えるように明るい雰囲気を作る。 ・友だち同士紹介し合う時には自分の名前に加えて、好きな食べ物や遊びなどが言えるようにさせる。 ・まず、教師が話したり指人形で話し方の基本をしてみせる。話し方の模範や例を示し、興味を持って安心して話すことができるようにする。

「友だちできるかな」から「友だちできたよ」へ

「はじめまして教室、友だち」

第1週	(水) 4月11日 なかよしタイム(学年合同)	生活④ 「校庭たんけんをしよう」 1時間目	図工① 「校庭で遊んだよ」 2時間目	国語② 名刺に名前を書こう 3時間目	道徳・特活 「安全になかよく帰ろう」 4時間目
週の目標	◆安心して遊びや生活ができ、施設の様子が分かる ・先生や友達を知る ・自分で教室に行き、片付けをして席に着く ・トイレや手洗い場が使える				
育てたい姿	・人と関わりながら、自分の好きな遊びを見つける。 ・遊具の正しい使い方を知り、安全に気をつけて遊ぶ。 ・絵に表現することを楽しむ。		・自分の名前を書きたいという意欲をもつ(書けたことを喜ぶ) ・鉛筆の正しい持ち方がわかる。 ・消しゴムの正しい使い方を知る		・みんなとお話を聞いたり考えたことを話し合う ・なかよくならぶ ・安全に帰る
時間	10分 登校後の整頓 20分 自由遊び 10分 出席確認・健康観察	10分 遊びの紹介 20分 校庭探検 15分 話し合い	10分 前時の想起 30分 絵を描く 5分 鑑賞・提出	45分(3Mの活動を組み立てる)	徐々に短時間で集合できるようにする(校区の事情に合わせて)
空間	教室 → 校庭 → 教室		教室	教室	教室から校庭へ
人間	兄弟・同じ園の友達・仲良くなった友達・先生			クラスの仲間・先生	下校グループの友達・引率の先生・安全パトロール(下校時)
教材	折り紙・絵本	校庭の施設・遊具	8つ切り画用紙・クレパス	鉛筆・名刺・ICT	道徳「あったか言葉」「とげとげ言葉」下校グループマーク
子どもの活動	1. 上靴にはきかえ自分の教室に入る。 2. 先生や友達に挨拶をする。 3. ランドセルをロッカーに入れる。 4. 多目的室に移動する 5. 名前を呼ばれたら返事をする。 6. 校庭に出て、遊具で遊ぶ	・校庭でお話の輪になる ・今日、学校に来てから遊んだことを話す ・校庭の遊具で遊ぶ。 ・見つけたものや気に入ったもの、気になったこと等を話し合う。	・遊んで楽しかったことを話し合う ・「校庭であそんだよ」をクレパスで画用紙に描く ・描いた絵の裏にクレパスで自分の名前を書く	・机上の自分の名前を指でなぞる ・鉛筆で自分の名前を練習する ・姿勢に気をつけて鉛筆で書く ・消しゴムの使い方を知る ・元のように片付ける ・家族に見せる名刺を選んで持ち帰る	1日目を思い出して、帰る準備をする (以後、日直の仕事「帰りの会」が始まるまで毎日繰り返し) ◆道徳「あったか言葉」「とげとげ言葉」のお話を聞く
教師の働きかけ	<p>お話の輪(校庭で輪になって座る。)</p>  <ol style="list-style-type: none"> 個々の子どもの遊び方を観察する。(遊具・走り回る・砂場・生き物等) 「校庭探検しよう」幼児教育施設にはなかった遊具、おもしろそうな施設、してもらったこと、してみたいこと等を話させる 始業前までの遊びの実態もとり上げる。 ルールを子どもから引き出す。 遊び方や遊具の使い方をとりあげ、うまくできていることを認める。 危険なことやよくないこともその後明確に示す。 <p>●は教師 ○はこどもたち</p> <p>・座る順序は自由。</p> <p>・「校庭探検のスタート」の前に校庭探検後に元の場所に戻る。集合時刻を知るための校庭の時計など事前に伝えておく。先生の姿が見える範囲にいることも約束する。</p>		<p>・イメージの掘り起こし：前時の活動を想起させる。</p> <p>前時で発言できなかった児童の発言の機会をもつ</p> <p>・絵を描く活動は30分程度</p> <p>・イメージを広げられない子：他の子のいい例を広めながら、働きかける。何を画いたかの対話や認める声かけ後に明確に示す。</p> <p>早く画けた子ども同士は教室の後部で見せ合いっこ(鑑賞)や掲示の準備をさせる。</p>	<p>・名刺を書く用紙を配付(6枚)</p> <p>・鉛筆の正しい持ち方指導：まずやらせてみる(練習用紙)</p> <p>・昨日同様、鉛筆の正しいもち方の写真・図を示しながら正しいもち方を意識して書かせる。</p> <p>・何枚も書きながら上手になっていくことを実感させる。</p> <p>※教師の働きかけは個別指導</p> <p>・文字を書蹴る喜びを共感する。</p> <p>・紙を押さえて書いたり、消したりすることや筆記用具の使いやすい位置を分かりやすく伝える。</p> <p>・名刺を1枚選んで家庭に持ち帰らせる※保護者とのつながりや子どもの見せたい想いを大切にする。</p>	<p>・帰る準備ができた人から席について歌を歌う</p> <p>・身支度にかかる時間差に配慮しながら言葉かけ</p> <p>・よりよい人間関係をつなぐ言葉の使い方について、道徳教材を活用して読み聞かせする。</p> <p>・「昨日よりもよかったこと」を認めて、一日の締めくくりに言葉かけ</p> <p>・下校グループで、早く協力してならべたことを認める。</p>

「友だちできるかな」から「友だちできたよ」へ

「はじめまして教室、友だち」

第1週	(木) 4月12日 なかよしタイム (学年合同)	身体測定 1時間目	体育① ならびっこ 2時間目	国語③ 「声に合わせて」 「ひらがなをかこう」 3時間目	道徳・特活 「時間を守ろう」「安全に帰ろう」 4時間目
週の目標	◆安心して遊びや生活ができ、施設の様子が分かる ・先生や友達を知る ・自分で教室に行き、片付けをして席に着く ・トイレや手洗い場が使える				
育てたい姿	・これまでの衣服の着脱や整理の仕方を思い出して、自分で着脱をする。	・保健室の場所や先生を知る。 ・自分の体に興味をもち、並びっこする。	・好きな遊具で安全に遊ぶ ・新しい施設の使い方を知り、手洗いうがいをきちんとする ・着替えて、3時間目の始まりチャイムで着席する	・学校生活に必要な言葉を知る。 ・先生や友だちの話を進んで聞く(見つけたことを話す)	・なかよくならぶ ・時間を守る ・交通安全に気をつけて歩く。
時間				45分(3Mの活動を組み立てる)	徐々に短時間で集合できるようにする(校区の事情に合わせて)
空間	・多目的室(合同活動可能な教室)	机…たたむ場所 いす…置く場所	運動場	教室・後方の床	教室から校庭へ
人間	周りの様子に応じてかかわり合うことができる。	保健室の先生(養護教諭)	先生 友だち(ペア 前後 背の順)	クラスの仲間・先生	帰り道が同じ友だち・引率の先生・安全パトロールの人(下校時)
教材	折り紙・絵本 校庭の施設・遊具	保健室にあるもの	遊具・運動場	教科書・掛け図・ICT	「じかんをまもろう」心のノート P14~15 下校グループの位置やマーク
子どもの活動	1. 上靴にはきかえ自分の教室に入る。 2. 先生や友達に挨拶をする。 3. ランドセルをロッカーに入れる。 4. 多目的室に移動する 5. 自由遊び 6. 名前を呼ばれたら返事をする。	1. 体操服に着替える 2. 脱いだものをたたむ 3. 名前順に廊下に並ぶ 4. 身体測定をする 5. 担当の先生に挨拶をする	1. 自分たちで背の順に並んでみる 2. ペアさんを覚える 3. 前後を覚える 4. 背の順のならびっこ 5. 好きな遊具で遊ぶ 6. 手洗い・うがい・着替え	1. 読み聞かせを聞く 2. 見つけたことを話す 3. 教科書という言葉を知る(本→教科書) 4. 教科書の開き方や持ち方を知る 5. 声に出して読む	1日目を思い出して、帰る準備をする(以後、日直の仕事「帰りの会」が始まるまで毎日繰り返し)決められた時間を守り、規則正しい生活をしようとする心情を育てる。(道徳的心情)「教室に遅れてきたおさるさんとうさぎさんを見ていたくまさんは何と言ったか」話し合う
教師の働きかけ	・子どもができることを引き出す(今までどうやって着替えてたの?) ・衣類をたたむ場所を確認する ・床面の使い方の違い ・身体測定の仕方や目的を知らせる		・子どもたちで背の高さを考えて並ぶよう働きかける。 ・左右、前後の友だちを覚えさせる ・幼児教育施設での遊具の使い方を思い出させて安全に配慮する。 ・手のひらコップでするうがいの仕方を伝える	・教科書の読み聞かせや範読をする ・聴き方の上手な子どもを認める ・教科書の開き方や持ち方がうまくてきていることを認める ・見つけたことや知っていることを聞く	・帰る準備ができた人から席について歌を歌う ・身支度にかかる時間差に配慮する ・「昨日よりもよかったこと」を認めて、一日の締めくくりの言葉 ・下校グループで、早く協力してならべるようになったことを認める。 ・交通安全について、下校指導で気づいた必要なことを加える。

「友だちできるかな」から「友だちできたよ」へ

「はじめまして教室、友だち」

第1週	(金) 生活⑤ 4月13日 なかよしタイム(学年合同) 1時間目 花いっぱい生きものいっぱい	図工② 1年生になったわたし 2時間目	算数① かずあそび 3時間目	音楽・特活 「安全になかよく帰ろう」 4時間目
週の目標	◆安心して遊びや生活ができ、施設の様子が分かる ・先生や友達を知る ・自分で教室に行き、片付けをして席に着く ・トイレや手洗い場が使える			
育てたい姿	・自分の名前や健康状態をはきはき言えるようになる。 ・友達の名前を知る ・校内の生き物などの自然に関心を持つ ・使った道具や教材をもとのところに片付ける			・なかよくならぶ ・交通安全に気をつけて歩く。
時間				徐々に短時間で集合できるようにする(校区の事情に合わせて)
空間	・多目的室 → 飼育舎・学習園・池・ビオトープ	教室	教室	教室から校庭へ
人間	先生・友達・6年生	クラスの仲間・先生	クラスの仲間・先生	帰り道が同じ友だち・引率の先生・安全パトロールの人(下校時)
教材	なぞなぞやクイズ	クレパス・画用紙・はさみ	教科書・算数セット	CD・下校グループの位置やマーク
子どもの活動	1. 上靴にはきかえ自分の教室に入る。 2. 先生や友達に挨拶をする。 3. ランドセルをロッカーに入れる。 4. 多目的室に移動する 5. 6年生となぞなぞやクイズをする 6. 名前を呼ばれたら返事をする。	・飼育舎や学習園、またはその周辺を探検する ・みつけたことや気に入ったこと、気になったことを伝え合う。 ・ワークシートに絵を描く	・自分の顔を画用紙に描いて、切り抜く ・切り抜いた画用紙を誕生日列車や学級目標の台紙にマグネットで ・使った道具を片付け、手を洗う	1. 算数セットの中身を確認する 2. 算数セットで遊ぶ(おはじきやブロック) 3. 算数の教科書を開いてみる。 4. 算数セットの片付け方を知る。
教師の働きかけ	・健康状態を言えない子には、寄りそい、自分で言えるようにする。 ・6年生の出題する「学校の生き物クイズ」などで次の時間への関心意欲につなげる。 ・見つけたものや人を色別に表示したり、地図上に貼ったりして可視化する ・これまでの経験と似ていることや違い、楽しかったことを交流し合う ・自由な感想を二人組でも伝え合うようにさせる ・トラブルがあれば、解決するための方法について話し合わせる ・次に行きたいところなど、新たな意欲を大切にす。			・絵の上におはじきやブロックを置かせながら一人一人の数認識を確認する。 ・算数の時間以外でも、個数や順番を正しく数えたり表したりすることへの興味を引き出す。 ・帰る準備ができた人から席について歌を歌う ・身支度にかかる時間差に配慮する ・「昨日よりもよかったこと」を認めて、一日の締めくくりの言葉 ・次週の名刺交換につながる声をかけておく

◆日直の仕事開始 週末:参観・懇談(保護者・幼児教育施設へのお知らせ)

第2週	(月) (対面式) 4月16日 なかよしタイム(全学合同)	生活⑥ ともだちいっぱい 1時間目	算数② 「名刺を教えよう」10までの数 2時間目	国語④ 「声に合わせて」「ひらがなをかこう」 3時間目	特別活動 日直の仕事 4時間目
週の目標	◆学校生活のリズムを知る ・先生や友達と挨拶し合うことができる ・自分で学習の準備ができる ・グループで校内の探検ができる				
育てたい姿	・学校にいる多くの人々に関心を持ち、6年生やクラスの仲間と名刺交換を通して、なかよくなりたいたいという態度を表す ・対応などの具体操作によって、ものの個数を比べる。 ・友達と仲よくし、助け合おうとする。 ・日直の仕事に意欲をもって取り組む。				
時間	対面式とその終了後	連れて行ってもらった6年生との交流活動		45分(3Mの活動を組み立てる)	
空間	運動場または体育館	教室・学校中	教室・自分の席	教室	教室・自分の席
人間	全教職員・全校生徒	6年生・クラスの仲間・先生	クラスの仲間・先生		
教材	校内の施設・遊具・校歌・校旗	名刺・メダル	もらった名刺・教科書・プリント	教科書・掛け図・ICT・プリント	日直の仕事カード
子どもの活動	1. 上靴にはきかえ自分の教室に入る。 2. 先生や友達に挨拶をする。 3. ランドセルをロッカーに入れ 4. 背の順のならばっこで、対面式へ 5. 6年生に迎えにきてもらう。 6. 校歌を歌う 7. 校長先生や他学年の先生の話聞く	・6年との名刺交換 4/11作成名刺(1年)⇔6年生メダル 交換 ・クラスの中で名刺交換(ゲームをしながら) ・ネーミングコールで名前を覚え ・フルーツバスケットで子ども同士の理解を深める 「〇〇幼稚園の人！」 「かけっこが得意の人！」 「お兄ちゃんがいる人！」等	1. 6年生にももらった名刺を数える ・対応などの操作によって、ものの個数を比べる。 ・名刺におはじきをのせて数えてみる対応などの操作によって、ものの個数を比べる。 ・二人組で確かめる ・もらった名刺を「なかよしノート」にのりで貼る ・後片付けをして遊ぶ	・絵を見てみつけたことを伝え合う ・お話の展開に関心を持つ ・おもしろいと想ったことを話す ・そのわけを言える子どもには話させる	・幼児教育施設でした当番活動を思い出す(あいさつ・お手紙配りなど) ・「日直」の言葉を知り、仕事内容を話し合う。 (・あいさつ、黒板消し、配布物の手伝い、時間の始まり・終礼号 ・日直の号令でサヨナラの挨拶
教師の働きかけ	1. 週明けで生活リズムの戻りにくい子どもへの配慮 ・先週金曜日に歌った歌を歌い、安心できるようにする。 ・挨拶の確認と承認。挨拶の気持ちよさと大切さを感じとれるよう ・身の回りの整え方を確認、承認 ・できていることを認めながら少しずつルール、約束を入れていく		・具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにする。 ・近くの友だちや隣の席同士などで一緒に確かめる ・名刺のサイズに合わせた10のマス目ワークに合わせてのりで貼っておく。 ・自分の名刺をもっと書きたい子どものために自由に書けるよう予備を用意しておく ・教科書を見て子どもからどんどん話を引き出していく。 ・何を発表してもいいような安心感を与える。 ・背筋がのびてすわっている子どもの様子を認める ・おもしろいと想ったわけを言える子どもには話させる ・歌いながら、友達とかかわるように動く ・はじめて日直さんに号令してもらおうかとさそいかける ・日直が始まることを確かめて下		

◆日直の仕事開始 週末:参観・懇談

<p>第2週</p>	<p>(火) 4月17日 なかよしタイム (学年合同)</p>	<p>生活⑦⑧ 学校探検 (1) 「2年生となかよしたんけん」 1時間目 2時間目</p>	<p>体育② 遊具探検・おにあそび 3時間目</p>	<p>算数③ 10までの数 4時間目</p>
<p>週の目標</p>	<p>◆学校生活のリズムを知る ・先生や友達と挨拶し合うことができる ・自分で学習の準備ができる ・グループで校内の探検ができる</p>			
<p>育てたい姿</p>	<p>・日直の仕事に意欲をもって取り組む。 ・学校探検を通して、2年生やクラスの子となかよく助け合おうとする。 ・自分で着替えや片付けができる。 ・順番やきまりを守って仲よく運動をしたり、協力して仲よく勝敗を競ったりする</p>			
<p>時間</p>				
<p>空間</p>	<p>・多目的室 (合同活動可能な教室)</p>	<p>校内</p>	<p>校庭 (体育館) → 教室</p>	
<p>人間</p>	<p>2年生・友だち・学校にいる人々</p>		<p>クラスの仲間・先生</p>	
<p>教材</p>	<p>校内のヒト・モノ・トコロ</p>		<p>赤白ぼうし・鉄棒・教科書・おはじき・ネームじしゃく</p>	
<p>子どもの活動</p>	<p>1. 上靴にはきかえ自分の教室に入る。 2. 先生や友達に挨拶をする。 3. ランドセルをロッカーに入れる。 4. ・多目的室に移動する 5. 2年生とクイズやゲーム遊びをする 6. 日直が元気調べをする。</p>	<p>①授業中の校内探検の約束を話し合う ②2年生に校内を案内してもらう。 ③行っていい場所・いけない場所 ④気に入った場所・気になった場所 ⑤見つけたこと、したこと、思ったことを伝え合う。 ⑥行った場所にシールを貼ったり、色を塗ったりする。</p>	<p>1. きがえ、たたむ 着席して待つ 2. 4日目 (4/12) に並んだ並び方で校庭で待つ 3. 鬼あそびをする。トラブルの回避、新しい情報も取り入れる 4. まずやってみる。どうしたかったかを気づく</p>	<p>1. どちらが多いかがわかる。 2. 教科書の上で1対1対応 p4 3. 赤白ぼうしを自分に見立てて自分のかわりに置かせる。 4. 置きかえ (おはじき) p5</p>
<p>教師の働きかけ</p>	<p>・2年生と遊ぶ様子を観察する。 ・続いて、学校案内をしてくれることを伝える。 ・2年生の日直の元気調べを聞く ・1年生が初めての日直による元気調べをする。 ・日直のペアはランダムに決める。(最初は、敢えて意図的にペアを固定しない)</p>	<p>・校内の教職員に事前に伝えておく ・遊んでもいい安全な場所を知らせる。 ・児童自身で利用・活用できる施設 ・教室以外の特別室 (写真を提示) ・自由な感想と共に③④の観点でも話し合わせる ・探検で見つけた「ひと・もの・こと・ところ」を伝え合い、気づきが広がるよう言葉かけをする。 *ひらがな指導にも生かしていく (体験と言語) りかしつの「り」、としよしつの「と」うさぎの「う」、きんぎよの「き」 ・次の時間のために着替えてから遊ぶように指示しておく ・着替えたものの確認をする。</p>	<p>1. 子どもたちが並ぶのを見守る。 3. 子どもの経験のある遊びをする。 4. ルール、約束を聞き出す 5. やってみて、ルール、約束を決めていく。(子どもからトラブル解消) cf: 「こふやしおに」誰がおにかわらない。分かるようにするにはどうするか「カラーぼうし」。 ※自分たちでルールを作りだせる喜びをもたせる。 ※遊び場の認識の違い (幼はどこも遊び場、小は限られたところ) <知っているおにごっこ> たかおに・こおりおに・色おに・けいあわぶくたった・子ふやしおに(カラーぼうしで色かえる)</p>	<p>ゲーム遊びから導入する。(ペアを組まないと困る場の設定) ・鉄棒の数を数える ・鉄棒に一人ずつぶら下がる等の対応、数えることを楽しむが、数と物の対応、置き換えは難しい。 ・なかま分けや1対1の対応を体験を通して理解させる</p>

◆日直の仕事開始 週末:参観・懇談

<p>第2週</p>	<p>(水) 4月18日 なかよタイム(学年合同)</p>	<p>生活⑨ 学校探検(2)「友だちと学校たんけん」 1時間目</p>	<p>算数④ 10までのかず 2時間目</p>	<p>国語⑤ ひらがなをかこう 3時間目</p>	<p>音楽 4時間目</p>
<p>週の目標</p>	<p>◆学校生活のリズムを知る ・先生や友達と挨拶し合うことができる ・自分で学習の準備ができる ・グループで校内の探検ができる</p>				
<p>育てたい姿</p>	<p>・みんなの中で話したり、聞いたりすることの楽しさを感じながら、経験したこと思ったことを自分から話す。 ・文字を書くことを楽しみ、集中して正しく書こうとする。 ・学校探検することを通して友だちと仲良く助け合おうとする。 ・学校探検を通して、施設の様子に興味を持ち、安心して遊びや生活ができるようになる。</p>				
<p>時間</p>				<p>45分(3Mの活動を組み立てる)</p>	
<p>空間</p>	<p>教室内・校庭・兄弟の教室</p>	<p>校内</p>	<p>教室</p>	<p>教室</p>	<p>教室</p>
<p>人間</p>	<p>クラスや学年の仲間・先生</p>	<p>学校中の先生・友だち</p>	<p>クラスの仲間・先生</p>	<p>クラスの仲間・先生</p>	<p>クラスの仲間・先生</p>
<p>教材</p>	<p>校内の施設・遊具</p>	<p>校内のヒト・モノ・トコロ</p>	<p>教科書・ICT・プリント</p>	<p>国語の教科書・運筆練習プリント・姿勢写真・ひらがなプリント・靴の</p>	
<p>子どもの活動</p>	<p>1. 上靴にはきかえ自分の教室に入る。 2. 先生や友達に挨拶をする。 3. ランドセルをロッカーに入れる。 4. ・多目的室に移動する 5. 友だちとできる遊びをする (あやとり・すごろく・オセロ・囲碁など) 6. 日直が元気調べをする。</p>	<p>①授業中の校内探検の約束を再確認す ②クラスの友だちとグループ探検 ③気に入った場所・気になった場所 ④見つけたこと、知りたいこと ⑤クラスのみんなで③④について交流 ⑥ワークシートに記入する ⑦学校の地図に添付したり記入する。</p>	<p>①学校探検で見つけたものを数える ②みんなで数えてみる ③繰り返してから、教科書におはじきをおいて数えてみる。 ④その個数を正しく数えたり、数えたものの個数を数字で表したりする</p>	<p>①先週習った鉛筆の持ち方を思い出 ②運筆練習(一筆書き、迷路脱出) ③文字を読み方を知り、正しく書く。 ④くつの「く」 ⑤「く」のつくことば ⑥「く」の練習</p>	
<p>教師の働きかけ</p>	<p>・自由活動の様子から不安のある児童援助の必要な児童に個別に働きかける ・日直による元気調べから健康観察を十分にする。 ・自分から挨拶できている事をほめる ・言葉による話だけでなく、一日の見通しがもてるよう教室掲示を工夫す</p>	<p>・見つけたものや人を色別に表示したり、地図上に貼ったりして可視化する ・自由な感想と共に③④の観点でも伝え合うようにさせる ・トラブルがあれば、解決するための方法について話し合わせる ・幼児教育施設との違いや感動を交流し合う ・ものへの関心だけでなく、人への気づき ・次に行きたいところなど、新たな意欲を大切にす。</p>	<p>「学校探検」などの体験を一致させながら数に対する見方を育てる。 ・写真を提示する。 ・みんなで数えて個々の活動にうつる ・ものとものを対応させることによって、ものの個数を比べる。 ・順番を表すときも数についての理解を図る。順番を調べる対象に、順に数を対応させていき、その対応する数によってその順番を知ることができる。このとき、最後の順番を表す数は、個数を表す数と一致することが分かるよ</p>	<p>・「学校探検」などの体験と言語を一致させながら文字が読めるようにす ・靴箱に正しく入れている写真を提示 ・1日1文字ずつ、書いていく見通し伝える。 ・だんだん上手になるための方法を考えさせる。 ・意欲や筆圧の差に応じた個別指導</p>	

◆日直の仕事開始 週末:参観・懇談

<p>第2週</p>	<p>(木) 4月19日 なかよしタイム</p>		<p>視力検査 ③ 私の好きなもの(粘土) 1時間目</p>	<p>図工 国語⑥ 「声に合わせて」 「ひらがなをかこう」 2時間目</p>	<p>体育③ ゆうぐをつかって 3時間目</p>	<p>算数⑤ 10までのかず 4時間目</p>
<p>週の目標</p>	<p>◆学校生活のリズムを知る ・先生や友達と挨拶し合うことができる ・自分で学習の準備ができる ・グループで校内の探検ができる</p>					
<p>育てたい姿</p>	<p>・みんなの中で話したり、聞いたりすることの楽しさを感じながら、経験したこと思ったことを自分から話す。 ・文字を書くことを楽しみ、集中して正しく書こうとする。 ・学校探検することを通して友だちと仲良く助け合おうとする。 ・学校探検を通して、施設の様子に興味を持ち、安心して遊びや生活ができるようになる。</p>					
<p>時間</p>	<p>視力検査を終えたら、粘土あそび</p>		<p>45分(3Mの活動を組み立てる)</p>			
<p>空間</p>	<p>教室内・校庭・兄弟の教室</p>	<p>保健室・教室</p>	<p>教室</p>	<p>運動場・体育館</p>	<p>教室</p>	
<p>人間</p>	<p>クラスや学年の仲間・先生</p>	<p>保健室の先生</p>	<p>クラスの仲間・先生</p>	<p>クラスの仲間・先生</p>	<p>クラスの仲間・先生</p>	
<p>教材</p>	<p>校内の施設・遊具</p>	<p>保健室にあるもの</p>	<p>教科書・掛け図・ICT・プリント</p>	<p>運動用具</p>	<p>算数セット・卵パック10個入り</p>	
<p>子どもの活動</p>	<p>1.上靴にはきかえ自分の教室に入る。 2.先生や友達に挨拶をする。 3.ランドセルをロッカーに入れる。 4.多目的室に移動する 5.または、運動場で自由遊び 6.名前を呼ばれたら返事をする。 7.日直が元気調べをする。 8.今日のニュース(スピーチをする)</p>	<p>・保健室での約束を思い出す(4/12) ・視力検査の方法を知る ・教室に一人でもどる ・個人もちの粘土で好きな動物or好きなものをつくる。 ・製作後展示 名前カード</p>	<p>・文字を正しく書く ・つくえの『つ』 ・『つ』のつくことば集め ・『つ』の練習</p>	<p>①ならびっこ ②ペアで体ほぐし 集団ゲーム ③遊具を使ってチャレンジする ・ジャングルジムのてっぺんまで ・のぼり棒のてっぺんまで ・うんていのはしっこまで ・タイヤじゃんけん</p>	<p>①数の名前 10までのかず ②みんなで数えてみる ③繰り返してから、教科書におはじきをおいて数えてみる。 ④その個数を正しく数えたり、数えたものの個数を数字で表したりする</p>	
<p>教師の働きかけ</p>	<p>・クラスの数や学級数に応じて、保健行事の進行時間は長短がある。1時間目には柔軟な活動を計画する。 ・保健行事と「保健室探検」は目的が違うので、保健室での約束事を徹底する。 ・自分の健康や命を守る大切な時間であることを伝える。</p>	<p>・「視力の検査」経験の想起 ・自分一人でも保健室から教室に戻れるようにする ・スモック着用させる。 ・粘土や粘土板の保管場所や扱い方も伝える。</p>	<p>・「学校探検」などの体験と言語を一致させ文字が読めるようにする。 ・机や机の中が美しく整頓されている写真を提示 ・だんだん上手になるための方法を考えさせる。 ・意欲や筆圧の差に応じた個別指導</p>	<p>各自のめあてを持たせる ・はじめてよりも高く、はじめてよりも遠くへ(ちくわの手)危険防止 ・何人が一度に鉄棒できるかな。10までの何人 ・タンバリンを打つ音の数に合わせてチームを組む</p>	<p>自分の持ち物や教室の中のもの、かずの名前に興味をもって。 ・みんなで数えて個々の活動にうつる ・ものともとの対応させることに ・順番を表すときも数についての理解を図る。順番を調べる対象に、順に数を対応させていき、その対応する数によってその順番を知ることができる。このとき、最後の順番を表す数は、個数を表す数と一致することが分かるようにする。</p>	

◆日直の仕事開始 はじめての参観日・懇談会

<p>第2週</p>	<p>(金) 4月20日 なかよしタイム (学年合同)</p>	<p>国語⑦⑧ 「声に合わせて」 「ひらがなをかこう」 1時間目</p>	<p>どうぞよろしく (参観授業) 2時間目</p>	<p>懇談会</p>	<p>PTA総会</p>
<p>週の目標</p>	<p>◆学校生活のリズムを知る ・先生や友達と挨拶し合うことができる ・自分で学習の準備ができる ・グループで校内の探検ができる</p>				
<p>育てたい姿</p>	<p>・一日の見通しをもって意欲的に活動しようとする。 ・文字を書くことを楽しみ、集中して楽しく書こうとする。 ・自分の名前や好きな食べもの、誕生日などをはきはきと話すことができる。 ・友だちと仲よくし、健康・安全に留意する</p>				
<p>時間</p>	<p>朝の会 (6年生と) ←弾力的に→ 一文字の指導は、2M</p>				
<p>空間</p>	<p>教室・多目的室・運動場</p>	<p>教室</p>	<p>教室</p>		
<p>人間</p>	<p>クラスや学年の仲間・先生</p>	<p>クラスの仲間・先生</p>	<p>先生・クラスの仲間・保護者</p>		
<p>教材</p>	<p>朝の会のプログラムカード</p>	<p>教科書・掛け図・ICT・プリント</p>	<p>誕生日列車と自分の顔 CD</p>		
<p>子どもの活動</p>	<p>1. 上靴にはきかえ自分の教室に入る。 2. 先生や友達に挨拶をする。 3. ランドセルをロッカーに入れる。 4. 多目的室に移動する 5. または、運動場で自由遊び 6. 名前を呼ばれたら返事をする。 7. 日直が元気調べをする。 8. 今日のニュース (スピーチをする)</p>	<p>・文字を正しく書く ・しいくごやの『し』 (写真: 飼育 ・『し』のつくことば集め ・『し』の練習 「つくし」の練習と清書をする ・2時間目の準備をする。ランドセルに荷物を入れて帰り仕度を済ませておく。</p>	<p>・「たんじょうづきなかま」を歌う。 ・親子で登壇して自己紹介をする。 ・クラスの友達の自己紹介を聞く ・人数に応じて、ことば遊び 「あいうえお」の歌</p>		
<p>教師の働きかけ</p>	<p>・日直による元気調べから始められるよう、朝の会の手順を書いたカードを準備しておく。 ・一日の見通しが持てるように掲示をする</p>	<p>・文字をていねいに書けるよう声掛けをする。「つくし」の掲示をする ・机を壁面によせて椅子を丸く並べさせる。 ・自分の顔のカードを配っておく。(4/13作成)</p> 	<p>・事前に誕生日を確かめておき、自分で話せるように援助する。 ・保護者に「子どもじまん」の紹介をお願いしておく。 ・誕生日列車に自分の顔を誕生日を確かめながらはる。 ・保護者が出席できていない子には担任が保護者の役割を担う。 <掲示物> 描画「校庭であそんだよ」 書写「つくし」 本時で完成する誕生日列車の「自分の顔」</p>		

◆給食開始 週末 校外学習

第3週	(月) 全校朝礼 4月23日 なかよしタイム(全校朝礼)	生活⑩ 学校探検(3)「友だちと学校たんけん」 1時間目	国語⑨ 「声に合わせて」「ひらがなをかこう」 2時間目	算数⑦ 10までのかず 3時間目	音楽・特別活動 給食が始まるよ 給食の後片付けをしよう 4時間目 5時間目	
週の目標	◆学校の環境に関心を持つ ・自分の役割を知って果たそうとする(水やり・当番) ・集団生活や学習のルールを知る					
育てたい姿	・学校探検で行きたい場所があり、おもしろいことや気に入ったものなどを見つけようとしている。 ・学校探検の様子を伝えようとする。 ・順番やきまりを守って仲よく遊ぶ ・友だちと仲よくし、健康・安全に留意して意欲的に生活する					
時間			一文字の指導：2Mから1Mへ		始まりの日には、特活5M	実態に応じて、音楽1M
空間	運動場または体育館	校内	教室	教室	教室・給食室	
人間	全教職員・全学年	学校中の先生・友だち	クラスの仲間・先生	クラスの仲間・先生	上級生・給食室の先生・調理員さん・安全パトロール(下校時)	
教材	校内の施設・遊具・校歌・校旗	校内のヒト・モノ・トコロ	教科書・掛け図・ICT・プリント	教科書・算数セット・プリント	給食の本・今日の献立	明日の予定
子どもの活動	1. 上靴にはきかえ自分の教室に入る。 2. 先生や友達に挨拶をする。 3. ランドセルをロッカーに入れる。 4. 全校朝礼に自分でならぶ 6. 校歌を歌う 7. 校長先生や他学年の先生の話聞く 6. 日直が元気調べをする。 7. 今日のニュース(スピーチをする)	①授業中の校内探検の約束を再確認する ②クラスの友だちとグループ探検 ③気に入った場所・気になった場所 ④見つけたこと、知りたいこと ⑤クラスみんなで③④について交流 ⑥ワークシートに記入する ⑦学校の地図に添付したり記入する。	・先生に合わせて、はきはきと読む ・絵から分かることを話す ・思ったことを話す。 ・言える子どもはそのわけを話す。 ・文字を正しく書く ・りかしつ『り』 ・『り』のつくことば集め ・『り』の練習	①数の名前 10までのかず ②みんなで数えてみる ③繰り返してから、教科書におはじきをおいて数えてみる。 ④その個数を正しく数えたり、数えたものの個数を数字で表したりする ⑤数字の練習	・給食の話聞く ・机の移動 ・手洗い、机を拭く ・ナフキンをひき、箸箱を置く。 ・給食着を着る。給食を取りに行く ・配膳 多い子は先に減らす ・食事挨拶 完食しておかわり ・食べ終わったら、本読み・自由帳等	・「後5分で片付けをします」を係からみんなに言う ・後片付け ・給食室へ返却 ・給食室で挨拶 ・給食着をたたんで袋にしまう ・帰る用意 ・帰りの会 みんなで歌う ・机を後ろに運んで下校
教師の働きかけ	・週明けで生活リズムの戻りにくい子どもへの配慮 ・先週金曜日に歌った歌を歌う。 ・挨拶の確認と承認。挨拶の気持ちよさと大切さを感じとれるようにする。 ・身の回りの整え方を確認、承認 ・できていることを認めながら少しずつルール、約束を入れていく ・給食が始まる期待と時間の見通しを絵などで掲示しておく	・見つけたものや人を色別に表示したり、地図上に貼ったりして可視化する ・自由な感想と共に③④の観点でも伝え合うようにさせる ・トラブルがあれば、解決するための方法について話し合わせる ・幼児教育施設との違いや感動を交流し合う ・ものへの関心だけでなく、人への気づきについてもはたらきかける ・次に行きたいところなど、新たな意欲を大切に作る。	・視覚を通して、理解を進める準備 ・動作化、劇化するなど参加できる形態の工夫をする ・子ども達からストーリーを引き出すことによって言葉につなげていく。 理科室の写真の提示 ・意欲や筆圧の差に応じた個別指導 ・早くできたら、色塗りや練習	自分の持ち物や教室の中のもの、かざの名前に興味をもって。 ・みんなで数えて個々の活動にうつつ ・ものともとの対応させることによって、ものの個数を比べる。 ・順番を表すときも数についての理解を図る。順番を調べる対象に、順に数を対応させていき、その対応する数によってその順番を知ることができる。このとき、最後の順番を表す数は、個数を表す数と一致することが分かるようにする。	・係の仕事の説明をする。(手順・ルール)安全と衛生面の徹底 ・食べられる量を見て確認、苦手なものも少しでも食べてみるような声かけをする。 ・早く食べ終わる子どもへの活動例を示しておく ・遅い子どもへの声かけ *幼児教育で体験してきたことやできることを話させる *当番活動は、繰り返して上達するが実態を見ながら柔軟に変更も必要	・「後5分で片付け」で音楽をかける ・後片付け(ごみ分別、食器の返却)の仕方を説明する。 ・給食着の片付け(机上でたたむ) ・明日の給食への期待 ・偏食の子どもへの配慮 ・清掃のために机を後ろに運ぶ 音楽の教科のねらいにそった選曲や動作化、歌遊びなどをして楽しい一日の締めくくりとする 下校時刻：学校通信やHPで連絡

◆給食開始 2日目 週末 校外学習

<p>第3週</p>	<p>(火) 4月24日 なかよしタイム</p>	<p>生活⑪体育⑤ 学校のまわり探検「〇〇公園までのつうがくろのひみつをみつけよう」 1時間目</p>	<p>国語⑩ 「声に合わせて」「ひらがなをかこう」 2時間目</p>	<p>音楽・特別活動 給食が始まるよ 給食の後片付けをしよう 3時間目 4時間目 5時間目</p>	
<p>週の目標</p>	<p>◆学校の環境に関心を持つ ・自分の役割を知って果たそうとする(水やり・当番) ・集団生活や学習のルールを知る</p>				
<p>育てたい姿</p>	<p>・自分たちの安全を守ってくれている施設や人々に興味を持ち、進んでかかわろうとする。 ・学んだことをいかして、自分の安全を自分で守ろうとする。(5月:通学路にある子ども110番の家を訪問)(6月:「交通安全教室」) ・校庭や公園にある遊具の使い方が分かっている。・分からないことや知りたいことを人に聞く。 ・順番やきまりを守って仲よく運動をしたり、協力して仲よく勝敗を競ったりする</p>				
<p>時間</p>		<p>通学路の状況や近隣の施設の環境による柔軟な時間の運用</p>	<p>一文字の指導:2Mから1Mへ</p>	<p>実態に応じて4.5分(6M)に特活と音楽の6Mを配分</p>	
<p>空間</p>	<p>教室内・校庭・兄弟の教室</p>	<p>教室・運動場・通学路・近隣の公園や野原</p>	<p>教室</p>	<p>教室・給食室</p>	
<p>人間</p>	<p>クラスや学年の仲間・先生</p>	<p>クラスや学年の仲間・先生、安全を守ってくれる人々</p>	<p>クラスの仲間・先生</p>	<p>上級生・給食室の先生・調理員さん・安全パトロール(下校時)</p>	
<p>教材</p>	<p>校内の施設・遊具</p>	<p>登校指導の様子の写真・通学路にある安全や防犯に関するヒト・モノ・トコロ、公園の自然</p>	<p>教科書・掛け図・ICT・プリント</p>	<p>給食の本・今日の献立</p>	<p>明日の予定</p>
<p>子どもの活動</p>	<p>1.上靴にはきかえ自分の教室に入る。 2.先生や友達に挨拶をする。 3.ランドセルをロッカーに入れる。 4.体操着に着替える。 5.運動場などで自由遊び 6.名前を呼ばれたら返事をする。 7.日直が元気調べをする。 8.今日のニュース(スピーチをする)</p>	<p>②トイレを済ませて運動場に集まる。 ②体育の時間の背の順にならび、ペアを確かめる。 ③学校の周り探検(さんぽ)に出る約束を話し合う。 ④登校指導の人々と一緒に出発する。 ⑤信号機や横断歩道、道路に書かれている文字や印などに気づく。 ⑥自分の通学路でもあるものや違うものに気づく。 ⑦近隣の公園や野原で、話し合ったり遊んだりする。 ⑧学校にもどって、手洗い・うがい・着替えをする。</p>	<p>・先生に合わせて、はきはきと読む ・絵から分かることを話す ・思ったことを話す。 ・言える子どもはそのわけを話す。 ・こうもの『こ』 ・『こ』のつくことば集め ・『こ』の練習</p>	<p>・みんなで歌う(音楽) ・机の移動 ・手洗い、机を拭く ・ナフキンをひき、箸箱を置く。 ・給食着を着る。給食を取りに行く ・配膳 多い子は先に減らす ・食事挨拶 完食しておかわり ・食べ終わったら、本読み・自由帳等</p>	<p>・「後5分で片付けをします」を係からみんなに言う ・後片付け ・給食室へ返却 ・給食室で挨拶 ・給食着をたたんで袋にしまう ・帰る用意 ・帰りの会 みんなで歌う ・机を後ろに運んで下校</p>
<p>教師の働きかけ</p>	<p>・自由活動の様子から不安のある児童に声かけをする。 ・日直による元気調べから健康観察を十分ににする ・自分から挨拶できている事をほめる ・言葉による話だけでなく、一日の見通しがもてるよう教室掲示を工夫する。 *学校の周りの発見ニュースも常時活動</p>	<p>・近づく校外学習の前に、安全への注意を促し、校外での子どもの様子を把握しておく。*事前に実際に下校指導時に通学路を歩いておく。 ・2人組(ペア)を作るにあたり、子ども同士の雰囲気や様子を気にかける ・ものへの関心だけでなく、人への気づきについてもはたらきかける ・防犯と交通安全の両面から、注意することをきちんと伝える。 ・通学路様子の違いと共通点について、自分と友達の通学路と比較させる ・近隣の野原や公園で自由遊びもしてから、学校にもどる。 ・教室に戻ってから、見つけたものや人を色別に表示したり、学校探検の周りの地図上に貼ったりして可視化する。 ・安全に関して、これからもっと気をつけようと思うことを確認する。トラブルがあれば、解決するための方法について話し合わせる。</p>	<p>・視角を通して、理解を進める準備 ・動きのある授業を展開する工夫を行う。 ・動作化、劇化するなど参加できる形態の工夫をする ・子ども達からストーリーを引き出すことによって言葉につなげていく。 理科室の写真の提示 ・意欲や筆圧の差に応じた個別指導 ・早くできたら、色塗りや練習</p>	<p>・係の仕事の説明をする。(手順・ルール)安全と衛生面の徹底 ・早く食べ終わる子どもへの活動例を示しておく ・遅い子どもへの声かけ *幼児教育施設で体験してきたことやできることを話させる *当番活動は、繰り返して上達するが実態を見ながら柔軟に変更も必要</p>	<p>・「後5分で片付け」で音楽をかける ・給食着の片付け(机上でたたむ) ・明日の給食への期待 ・偏食の子どもへの配慮 ・清掃のために机を後ろに運ぶ ・音楽の教科のねらいにそった選曲や動作化、歌遊びなどをして楽しい一日の締めくくりとする 下校時刻:学校通信やHPで連絡</p>

◆給食開始 3日E・ものづくりに没頭する 仕上がっていくおもしろさを楽しむ

<p>第3週</p>	<p>(水) 4月25日 なかよしタイム</p>	<p>国語① 「声に合わせて」「ひらがなをかこう」 1時間目</p>	<p>図工④⑤ わくわくバッグをつくろう 2時間目</p>	<p>音楽・特別活動 給食が始まるよ 4時間目 給食の後片付けをしよう 5時間目</p>	
<p>週の目標</p>	<p>◆学校の環境に関心を持ち、 ・自分の役割を知って果たそうとする（水やり・当番） ・集団生活や学習のルールを知る</p>				
<p>育てたい姿</p>	<p>・つくりたいイメージに合った材料や用具を選び、思いを広げながらつくる ・つくりながら考えたり試したりする ・友だちと仲よくし、健康・安全に留意して意欲的に生活する</p>				
<p>時間</p>					<p>実態に応じて45分×2（6M）に特活と音楽を配分</p>
<p>空間</p>	<p>教室内・校庭・兄姉の教室</p>	<p>教室</p>	<p>教室</p>	<p>教室・給食室</p>	<p>教室・給食室</p>
<p>人間</p>	<p>クラスや学年の仲間・先生</p>	<p>クラスの仲間・先生</p>	<p>クラスの仲間・先生</p>	<p>給食室の先生・調理員さん</p>	<p>給食室の先生・調理員さん</p>
<p>教材</p>	<p>校内の施設・遊具</p>	<p>教科書・掛け図・ICT・プリント</p>	<p>バッグの原型、家庭から持ってきた材料、折り紙、画用紙、装饰材料</p>	<p>給食の本・今日の献立</p>	<p>明日の予定</p>
<p>子どもの活動</p>	<p>1.上靴にはきかえ自分の教室に入 2.先生や友達に挨拶をする。 3.ランドセルをロッカーに入れる。 4.多目的室に移動する 5.または、運動場で自由遊び 6.名前を呼ばれたら返事をする。 7.日直が元気調べをする。 8.今日のニュース（スピーチをする）</p>	<p>・先生に合わせて、はきはきと読む ・絵から分かることを話す ・思ったことを話す。 ・言える子どもはそのわけを話す。 ・いんさつしつ『い』 ・『い』のつくことば集め ・『い』の練習</p>	<p>・出来上がったときに「わくわくする感じ」バッグにするにはどうするか ・色や模様を貼る・飾りをつける・絵をかく・まどを付ける・しかけを付ける ・「わくわくするバッグ」をつくりながら材料を選ぶ ・飾りや工夫を付け加えて、どんどんバッグを変身させる ・困ったら、友だちのバッグを見たり、ヒントコーナーで相談する。 ・「見てみてタイム」にできたバッグを並べてみる。 ・活動をふり返る ・もとの教室になるように力を合わせて片付ける</p>	<p>・みんなで歌う(音楽) ・机の移動 ・手洗い、机を拭く ・ナフキンをひき、箸箱を置く。 ・給食着を着る。給食を取りに行く ・配膳 多い子は先に減らす ・食事挨拶 完食してからおかわ ・食べ終わったら、本読み・自由帳等</p>	<p>・「後5分で片付けをします」は係 ・後片付け ・給食室へ返却 ・給食室で挨拶 ・給食着をたたんで袋にしまう ・帰る用意◆遠足の約束を話し合う ・帰りの会 みんなで歌う ・机を後ろに運んで下校</p>
<p>教師の働きかけ</p>	<p>・自由活動の様子から不安のある児童に声かけをする。 援助の必要な児童に個別に働きかける ・日直による元気調べから健康観察を十分に ・自分から挨拶できている事をほめる ・言葉による話だけでなく、一日の見通しがもてるよう教室掲示を工夫する。 *学校の周りの発見ニュースも常時活動</p>	<p>・視覚を通して、理解を進める準備 ・動作化、劇化するなど参加できる形態の工夫をする ・子ども達からストーリーを引き出すことによって言葉につなげていく。 印刷室の写真の提示 ・意欲や筆圧の差に応じた個別指導 ・早くできたら、色塗りや練習</p>	<p>・児童のアイデアを紹介させ意欲付けを計る。 ・見本板書にし、つくる活動の中で支援の手段にする。 ・児童から出された考えをイメージマップにし絵図にする。 ・「用具コーナー」を設け、用具の使い方を表示しておく。 ・「材料コーナー」を設ける。予め必要が予想される材料を身の回りから集め用意しておく。 ・「ヒントコーナー」では、必要に応じて、補助材として針金、竹ぐしなど ・活動が停滞している児童に対しては、イメージマップを参考に教師と一緒に表したいことを見つけるようにする。 ・振り返りは発言による自己評価、相互評価も取り入れる。 (まだ、文字の書き方が十分でない)</p>	<p>・係の仕事の説明をする。(手順・ルール)安全と衛生面の徹底 ・食べられる量を見て確認させる。食前に自分で減らせる。 苦手なものも少しでも食べてみるような声かけをする。 ・早く食べ終わる子どもへの活動例を示しておく ・時間を要する子どもへの声かけ *幼児教育で体験してきたことやできることを話させる *当番活動は、繰り返して上達するが、実態を見ながら柔軟に変更も必要</p>	<p>・「後5分で片付け」で音楽をかける ・後片付け(ごみ分別、食器の返却)の仕方を説明する。 ・給食着の片付け(机上でたたむ) ・明日の給食への期待 ・偏食の子どもへの配慮 ・清掃のために机を後ろに運ぶ ・音楽科のねらいにそった選曲。動作化、歌遊びなど ・楽しい一日の締めくくりとする 下校時刻：学校通信やHPで連絡</p>

◆給食開始 4日目週末 校外学習

第3週	(木) 4月26日 なかよしタイム	算数⑧ 10までのかず 1時間目	体育⑤ ボールであそぼう 2時間目	国語⑫ 「声に合わせて」「ひらがなをかこう」 3時間目	音楽・特別活動 給食が始まるよ 給食の後片付けをしよう 4時間目 5時間目	
週の目標	◆学校の環境に関心を持つ ・自分の役割を知って果たそうとする(水やり・当番) ・集団生活や学習のルールを知る					
育てたい姿	・友だちと仲よくし、健康・安全に留意して意欲的に学習したり、生活したりをする ・簡単なきまりや活動を工夫して各種の運動を楽しむ ・順番やきまりを守って仲よく運動をしたり、協力して仲よく勝敗を競ったりする					
時間	実態に応じて45分(6M)に特活と音楽の6Mを配分					
空間	教室内・校庭・兄弟の教室	教室	運動場・体育館	教室	教室・給食室	
人間	クラスや学年の仲間・先生	先生・クラスの仲間	クラスの仲間・先生	先生・クラスの仲間	上級生・給食室の先生・調理員さん・安全パトロール(下校時)	
教材	校内の施設・遊具	教科書・算数セット・プリント	遊具・ボール・ゼッケン	教科書・掛け図・ICT・プリント	給食の本・今日の献立	明日の予定
子どもの活動	1.上靴にはきかえ自分の教室に入る。 2.先生や友達に挨拶をする。 3.ランドセルをロッカーに入れる。 4.多目的室に移動する 5.または、運動場で自由遊び 6.名前を呼ばれたら返事をする。 7.日直が元気調べをする。 8.今日のニュース(スピーチをする)	①数の名前 10までのかず ②みんなで数えてみる ③繰り返してから、教科書におはじきをおいて数えてみる。 ④その個数を正しく数えたり、数えたものの個数を数字で表したりする ⑤数字の練習	①ならびっこ ②体ほぐし ③遊んだことのあるボールあそびを伝え合う ④ボールおくり ⑤ことがしっこ ⑥なげあいっこ ⑦ボールゲーム ⑧かたづけと振り返り	・先生に合わせて、はきはきと読む ・絵から分かることを話す ・思ったことを話す。 ・言える子どもはそのわけを話す。 ・てつぼうの『て』 ・『て』のつくことば集め ・『て』の練習	・みんなで歌う(音楽) ・机の移動 ・手洗い、机を拭く ・ナフキンをひき、箸箱を置く。 ・給食着を着る。給食を取りに行く ・配膳 多い子は先に減らす ・食事挨拶 完食しておかわり ・食べ終わったら、本読み・自由帳等	・「後5分で片付けをします」を係からみんなに言う ・後片付け ・給食室へ返却 ・給食室で挨拶 ・給食着をたたんで袋にしまう ・帰る用意◆遠足の約束を話し合う ・帰りの会 みんなで歌う ・机を後ろに運んで下校
教師の働きかけ	・自由活動の様子から不安のある児童に声かけをする。 援助の必要な児童に個別に働きかける ・日直による元気調べから健康観察を十分に にする ・自分から挨拶できている事をほめる ・言葉による話だけでなく、一日の見通しがもてるよう教室掲示を工夫する。 *学校の周りの発見ニュースも常時活動	自分の持ち物や教室の中のもの、かずの名前に興味をもって。 ・みんなで数えて個々の活動にうつる ・ものともとを対応させることによって、ものの個数を比べる。 ・順番を表すときも数についての理解を図る。順番を調べる対象に、順に数を対応させていき、その対応する数によってその順番を知ることができる。このとき、最後の順番を表す数は、個数を表す数と一致することが分かるようにする。	・「体ほぐしの運動」及び「多様な動きをつくる運動遊び」を組み込 ・自分たちでならんだり、準備運動をしたりするようにはたらきかける。 ・徐々に実態に合わせて、十分な体づくりになっていくように高めてい ・運動をしたいという欲求を充足し、楽しくできるようにする	・視覚を通して、理解を進める準備 ・動作化、劇化するなど参加できる形態の工夫をする ・子ども達からストーリーを引き出すことによって言葉につなげていく。 鉄棒の写真の提示 ・意欲や筆圧の差に応じた個別指導 ・早くできたら、色塗りや練習	・係の仕事の説明をする。(手順・ルール)安全と衛生面の徹底 ・食べられる量を見て確認させる。食前に自分で減らさせる。 苦手なものも少しでも食べてみるような声かけをする。 ・早く食べ終わる子どもへの活動例を示しておく ・時間を要する子どもへの声かけ *幼児教育で体験してきたことやできることを話させる *当番活動は、繰り返して上達するが、実態を見ながら柔軟に変更も必	・「後5分で片付け」で音楽をかける ・後片付け(ごみ分別、食器の返却)の仕方を説明する。 ・給食着の片付け(机上でたたむ) ・明日の給食への期待 ・偏食の子どもへの配慮 ・清掃のために机を後ろに運ぶ ・音楽科のねらいにそった選曲。動作化、歌遊びなど ・楽しい一日の締めくくりとする 下校時刻：学校通信やHPで連絡

◆校外学習 「友だちととなかよし、自然となかよし」

第3週	(金) 4月27日 なかよしタイム	校外学習				
		1時間目	2時間目	3時間目	4時間目	5時間目
週の目標	◆学校の環境に関心を持つ ・自分の役割を知って果たそうとする(水やり・当番) ・集団生活や学習のルールを知る					
育てたい姿	・校外学習を通して、一層友だちとなかよく関わり合うことができる。 ・集団行動ができる。 ・校外の安全に注意して、時間を守って行動できる。 ・目的地の自然に関心を持ち、新たな気づきができる。					
時間	地域の実態に応じた目的地までの往復時間					
空間	教室内・校庭・兄弟の教室					
人間	クラスや学年の仲間・先生					
教材	目的地の自然・社会・人					
子どもの活動	1. 上靴にはきかえ自分の教室に入る。 2. 先生や友達に挨拶をする。 3. 日直が元気調べをする。 4. 遠足の約束を確かめる 5. 校外学習に出発する					
教師の働きかけ	・健康状態の把握 ・安全への配慮(一人行動の禁止。徒歩：前の人にタッチできる間隔。交通ルールの徹底) ・常時 人数確認 ・トイレの場所(事前確認) ・目的地の自然に関心を持ち、気づきが見られた発言や行動を広める。					

◆係り活動開始（日直の仕事以外の係活動を必要に応じて増やしていく。固定化する係と輪番制を実態に応じて有効に設定する。）

<p>第4週</p>	<p>(月) 全校朝礼 5月1日 なかよしタイム</p>	<p>国語⑬ 図工⑤ 1時間目 2時間目</p>	<p>算数⑨ 10までのかず 3時間目</p>	<p>国語⑭ 「声に合わせて」「ひらがなをかこ 4時間目</p>	<p>道徳 じぶんのこと・ともだちのこと 5時間目</p>
<p>週の目標</p>	<p>◆学習や生活に進んで取り組み、自分の思いや考えを集団の中で表現しようとする。</p>				
<p>育てたい姿</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目当てや表現しようとする思いや意図があって作品に表す活動を楽しむ ・順番を正しく数えたり表したりすることを楽しみながら理解する ・ものの個数を比べたり、生活の中の数にも関心をもつ ・うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活する。 				
<p>時間</p>	<p>国語（1M）→ 図工（4M）→ 国語（1M）</p>				
<p>空間</p>	<p>運動場または体育館</p>	<p>教室</p>	<p>教室</p>	<p>教室</p>	<p>教室</p>
<p>人間</p>	<p>全教職員・全学年</p>				
<p>教材</p>	<p>校内の施設・遊具・校歌・校旗</p>	<p>遠足の写真、クレパス・共同で使用する絵の具・色画用紙4つ切り、マス目ワークシート</p>	<p>教科書・算数セット・プリント</p>	<p>教科書・掛け図・ICT・プリント</p>	<p>掛け図・ICT・プリント</p>
<p>子どもの活動</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上靴にはきかえ自分の教室に入る。 2. 先生や友達に挨拶をする。 3. ランドセルをロッカーに入れる。 4. 全校朝礼に自分でならぶ 6. 校歌を歌う 7. 校長先生や他学年の先生の話聞く 6. 日直が元気調べをする。 7. 今日のニュース（スピーチをする） 	<ul style="list-style-type: none"> ・遠足のことを思い出して伝え合う。 ・遠足で楽しかったことをクレパスなどで描く。 ・早くできたら、「できたよコーナー」で、友だちと見せ合う。 ・感想を言い合ったり、もっと付け加えたりする。使った用具を片付け ・遠足で楽しかったことをマス目のワークに書く ・書きたいのに書けない文字は先生に教えてもらったり書いてもらったりする。 ・できた人から掲示の準備をする。 	<ol style="list-style-type: none"> ①数の名前 10までのかず ②みんなで数えてみる ③繰り返してから、教科書におはじきをおいて数えてみる。 ④その個数を正しく数えたり、数えたものの個数を数字で表したりする ⑤数字の練習 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生に合わせて、はきはきと読む ・絵から分かることを話す ・思ったことを話す。 ・言える子どもはそのわけを話す。 ・うさぎの『う』 ・『う』のつくことば集め ・『う』の練習 	<ul style="list-style-type: none"> ・できていることを認め合う ・気持ちのよいあいさつ ・友達と仲よくし、助け合う。
<p>教師の働きかけ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今日のニュースは、日直が話さなければいけないスピーチとしては強制しない。 ・今日のニュースの内容は、自然・社会（家庭生活）・自分の発見等 ・登校後に自由に「はっけんカード」に絵や文を書く時間も徐々に設定する。 ・遠足の様子や情景をデジカメから再現する。(写真・スライドショー) ・その際、想起する力を引き出すため、提示する量に配慮する。 ・ルールも再確認しながら、話し合いの時間は10分以内にとどめ、早く描きたい意欲を高める。 ・片付けの時間も勘案し、絵の具は共同で使用できるよう教師が準備する。 ・現時点での個のありのままの実態を受け止めるために、グループにはしない。 また、床ではなく、机上で描かせる。 ・早くできたら、「できたよコーナー」で、友だちと見せ合い、作品鑑賞や意見交換、新たな意欲につなげる。 ・マス目ワークに楽しかったお話を書く際は、書きたい子どもに文字を書いて補助指導をする。または、聴き取りによって教師が書く。絵につけて掲示する。 自分の持ち物や教室の中のもの、かざの名前に興味をもって。 ・みんなで数えて個々の活動にうつる ・ものとものを対応させることによって、ものの個数を比べる。 ・順番を表すときも数についての理解を図る。順番を調べる対象に、順に数に対応させていき、その対応する数によってその順番を知ることができる。このとき、最後の順番を表す数は、個数を表す数と一致することが分かるようにする。 ・視覚を通して、理解を進める準備 ・動作化、劇化するなど参加できる形態の工夫をする ・子ども達からストーリーを引き出すことによって言葉につなげていく。 うさぎの写真の提示 ・意欲や筆圧の差に応じた個別指導 ・早くできたら、色塗りや練習 ・価値の伝達として、以下の2点に特にしぼって認めていく。 ◆身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。 ◆うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活する。 ・自分にかかわること ・人との関わりに関すること 入学後3週間の様子から、できていることをじっくり語りかける。 				

連休の狭間の心ほぐし。ダイナミックな活動。既習体験の引き出し

<p>第4週</p>	<p>(火) 5月2日 なかよしタイム</p>	<p>生活⑫ 学校探検発表会 1時間目</p>	<p>図工⑥⑦ 友だちと力を合わせてつくろう (新聞紙をつかって) 2時間目 3時間目</p>	<p>算数⑩ 10までのかず 4時間目</p>	<p>国語⑭ 声に合わせて「ひらがなをかこう」 5時間目</p>
<p>週の目標</p>	<p>◆学習や生活に進んで取り組み、自分の思いや考えを集団の中で表現しようとする。</p>				
<p>育てたい姿</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校探検で気づいたことや感じたことを、自分なりに工夫してまとめることができる。 ・学校探検の発表を通して、自分や友達よさに気づき、認め合う ・身の回りの自然を利用したり、身近にあるものを使ったりなどして遊びを工夫し、みんなで遊びを楽しむ(生活6) ・遊びをつくり出す楽しさや夢中になって遊ぶ楽しさを味わう。 				
<p>時間</p>					
<p>空間</p>	<p>教室内・校庭・兄弟の教室</p>	<p>校内</p>	<p>多目的室</p>	<p>教室</p>	<p>教室</p>
<p>人間</p>	<p>クラスや学年の仲間・先生</p>	<p>クラスや学年の仲間・先生</p>	<p>クラスや学年の仲間・先生</p>	<p>クラスの仲間・先生</p>	<p>クラスの仲間・先生</p>
<p>教材</p>	<p>校内の施設・遊具</p>	<p>学校探検地図・ワークシート・写真</p>	<p>・自分の使いたい材料・のり・はさみ・新聞紙・カラーガムテープ・色画用紙・カラーセロファン・スズランテープ</p>	<p>教科書・算数セット・プリント</p>	<p>教科書・掛け図・ICT・プリント</p>
<p>子どもの活動</p>	<p>1. 上靴にはきかえ自分の教室に入る。 2. 先生や友達に挨拶をする。 3. ランドセルをロッカーに入れる。 4. 友だちと遊びや学校探検をする 5. 日直が元気調べをする。 6. 今日のニュース (スピーチをする) 7. 朝の学習をする(習熟練習) 1M</p>	<p>1. お気に入りとそのわけを地図で示しながら伝え合う。 ○いろんな人がはたらいてる ○たくさん生き物がいる ○だんだん分かってきた ○自分でどこでもいけるよ 2. 同じ事や違いを出し合う 3. ワークに書く</p>	<p>・既習体験の想起「新聞紙でこんなことしたことあるよ」 ・新たな造形への意欲を伝え合う「こんなこともしてみたい」 ・新聞に穴を空けたり、切ったりする。 ・びりびり破れる音を楽しんだり、長くつなげたりする。 ・友だちと力を合わせて大きなものを夢中でつくる。 ・一緒に遊ぶための約束を守りながらよりよい関わりを持つ。 ・元の状態になるように、力を合わせて片付ける。</p>	<p>①数の名前 10までのかず ②みんなで数えてみる ③繰り返してから、教科書におはじきをおいて数えてみる。 ④その個数を正しく数えたり、数えたものの個数を数字で表す ⑤数字の練習</p>	<p>・先生に合わせて、読む ・絵から分かることを話す ・思ったことを話す。 ・言える子どもはそのわけを話す。 ・へちまの『へ』 ・『へ』のつくことば集め ・『へ』の練習</p>
<p>教師の働きかけ</p>	<p>・ニュースの内容に随時、学校探検でみつけたことも聴き取っていく。 *学校探検でみつけたよ(常時活動)</p>	<p>・この日に学校探検報告会をすることを事前に予告しておく。 ・振り返らせ探検の前から変わったことに気付かせ 学校や友達により親しみをもたせる。 ・発表会を通して、自分や友達の良さに気づき、成就感を感じる ・自分の知らなかったこと、おどろいたこと、おもしろかったことなどを書かせる。</p>	<p>・ダイナミックな活動を取り入れる。 ・友だちとのかかわりの中で、教え合ったり助け合ったりしながら楽しく活動できる場を設定する。 ・「新聞紙やカラーセロファンなどの素材の質感を体全体で味わい楽しんでいるか」を評価しながら観察や共感する。 ・片付けの態度も評価する。</p>	<p>自分の持ち物や教室の中のもの、かずの名前に興味をもつ。 ・みんなで数えて個々の活動に ・ものとものを対応させることによって、ものの個数を比べ ・順番を表すときも数についての理解を図る。順番を調べる対象に、順に数を対応させていき、その対応する数によってその順番を知ることができる。このとき、最後の順番を表す数は、個数を表す数と一致することが分かるようにする。</p>	<p>・視覚を通して、理解を進める準備 ・動作化、劇化するなど参加できる形態の工夫をする ・子ども達からストーリーを引き出すことによって言葉につなげていく。 へちまの写真の提示 ・意欲や筆圧の差に応じた個別指導 ・早くできたら、色塗りや練習</p>
<p>*リード文の提示例「私の好きなところは…です。そのわけは…です。」</p>					

GWあけ

種まき：幼までの経験の引き出し・2年生の経験・種まきまでの環境構成

<p>第4週</p>	<p>(月) 全校朝礼 5月7日 なかよしタイム</p>	<p>生活⑬ 花を育てよう「大きくなあれ わたしのアサガオ」 1時間目 2時間目</p>	<p>算数⑪ 10までのかず 3時間目</p>	<p>国語⑮ 「声に合わせて」 「ひらがなをかこう」 4時間目</p>
<p>週の目標</p>	<p>◆学習や生活に進んで取り組み、自分の思いや考えを集団の中で表現しようとする。</p>			
<p>育てたい姿</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アサガオも、生命をもっていることに気付き大切に育てることができる。さらに、他の植物も大切にすることができる。 ・自分の力で工夫して栽培し、世話をすることを楽しむ。・水やりや「あさがおさんのけんこうかんさつ」をする。(常時活動) ・アサガオの生長を願い、その変化に関心をもって、意欲的に世話をしたり、適切にかかわっていく。 ・友だちと仲よくし、健康・安全に留意して意欲的に学習したり、生活したりをする 			
<p>時間</p>	<p>教室(1M) → 土場・校庭・朝顔の鉢置き場(4M) → 教室(1M)</p>			
<p>空間</p>	<p>教室内・校庭・兄弟の教室</p>		<p>教室</p>	<p>教室</p>
<p>人間</p>	<p>クラスや学年の仲間・先生</p>	<p>クラスや学年の仲間・先生 2年生</p>	<p>クラスの仲間・先生</p>	<p>クラスの仲間・先生</p>
<p>教材</p>	<p>校内の施設・遊具・校歌・校旗</p>	<p>アサガオの種・土・水・肥料・植木鉢・自分の立て札(牛乳パック・割りばし・図鑑)</p>	<p>教科書・算数セット・プリント</p>	<p>教科書・掛け図・ICT・プリント</p>
<p>子どもの活動</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上靴にはきかえ自分の教室に入る。 2. 先生や友達に挨拶をする。 3. ランドセルをロッカーに入れる。 4. 全校朝礼に自分でならぶ 6. 校歌を歌う 7. 校長先生や他学年の先生の話聞く 6. 日直が元気調べをする。 7. 今日のニュース(スピーチをする) 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで育てたことのある植物を伝え合う ・アサガオの種を知り、特徴について話し合う。 ・2年生から「種まきや世話の仕方」について、失敗例や成功例を聞く。(2年生) ・学校探検の時と同じペアやグループの2年生と一緒に種まきをする。(2年生) ・手洗い後、教室にもどって、これからの世話の仕方を話し合う。 ・ワークシートに種まきの絵やアサガオの種に願うことを書く。 ・困ったことや分からないことは、2年生などのお兄さんお姉さんに聞いて 	<ol style="list-style-type: none"> ①数の名前 10までのかず ②みんなで数えてみる ③繰り返してから、教科書におはじきをおいて数えてみる。 ④その個数を正しく数えたり、数えたものの個数を数字で表したりする ⑤数字の練習 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生に合わせて、読む ・絵から分かることを話す ・思ったことを話す。 ・言える子どもはそのわけを話す。 ・としょしつ『と』 ・『と』のつくことば集め ・『と』の練習
<p>教師の働きかけ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康観察をいつも以上に丁寧にする。 ・休み中にあったことを二人組のペアになり、じゃんけんで勝った子どもから負けた子どもに話す。また、交代して負けた子どもが勝った子どもに話す。 ・教師から、休み中の自分の体験や発見を子どもに分かりやすく話す。 ・久しぶりの登校で退行現象も予想しておく。 	<p>【種まきまでの環境構成】夏に咲く花の種や写真・図鑑などを数種類を10日くらい前から教室に置き、興味や関心を引き出しておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼の体験やこれまでにの学習園探検などで見た他学年の種まきなども想起 ・「命のたね」であることを話す。(丁寧な扱い) ・2年生から聞く「種まきや世話の仕方」について、事前に2年生担任と打ち合わせ、子どもの理解促進のための絵カードや写真などを準備しておく。 ・事前に植木鉢に子どもの名前を書いておくこの後、予備のたねまきもして ・発芽に期待を持たせることばかけ <p>幼：みんなのアサガオ。きれいに咲いてね 小：自分で世話をする「わたしのアサガオ」新たな気づき</p>	<p>自分の持ち物や教室の中のもの、かずの名前に興味をもって。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで数えて個々の活動にうつる ・ものとものを対応させることにより、ものの個数を比べる。 ・順番を表すときも数についての理解を図る。順番を調べる対象に、順に数を対応させていき、その対応する数によってその順番を知ることができる。 <p>このとき、最後の順番を表す数は、個数を表す数と一致する。色が分かるよ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚を通して、理解を進める準備 ・動作化、劇化するなど参加できる形態の工夫をする ・子ども達からストーリーを引き出すことにより言葉につなげていく。 <p>図書室の写真の提示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲や筆圧の差に応じた個別指導 ・早くできたら、色塗りや練習